

練習問題13

(検定3級レベル)

買い物で失敗したくないという消費者が増えていることから「お試し」が新たな市場として衣食住の各分野に拡大している。消費者の心の中にある「購入前に自分なりの納得感がほしい」というニーズに応えるために、企業も対応に乗り出し始めている。	30 60 90 116
一度購入した商品を試用し、納得してもらえなければ返品をしてもよいというシステムだ。新商品を販売しても、返品されることが増えている現状を、消費者心理を分析することで改善しようとしている。	146 176 206 210
日本で売れずに返品された商品でも、国が違えばニーズに合うものになる可能性がある。企業が国境を越えて様々なニーズを知り、マーケティング戦略を考えていくことが持続可能な成長へと近づく道ではないだろうか。	240 270 300 310

納得 (なっとく)
応 (こた) える

1回目	総字数		2回目	総字数	
/	エラー		/	エラー	
	純字数			純字数	

自己採点のコツ

入力練習を行ったら、どの程度の文字数を打てたか、確認する習慣をつけましょう。状況に合わせて、以下のようなやり方が考えられます。

1. 厳密に採点したい場合

入力したデータを印刷して採点することになります。一文字ずつ原稿と見比べて確認するのが最も確実ですが、時間がかかり、効率的ではありません。もしも、二人以上で同じ原稿を入力できる場合、あるいは二回以上同じ原稿を入力した場合は、印刷した用紙を重ねて透かしてみると、短時間で間違っている場所を見つけることができます。

2. 継続的に何度も練習を繰り返す場合

毎回の練習成果を記録して、どの程度スピードアップしているかを実感したい目的ならば、入力できた文字数とタイムを記録した一覧表を作成するとよいでしょう。この表を見れば、自分の進歩が確認できます。

3. 入力ミスを手早くチェックしたい場合

入力が終わった段階で、変換ミスなど、どこかに入力ミスがないかを素早くチェックするには、原稿の各行末の一文字を縦に見て、テキストと整合しているかを確認しましょう。もしテキストと違う文字が行末に来ていたら、その行は間違いを含んでいます。ただし、この方法は変換ミスでも文字数は変わらない場合など、すべての誤りをチェックできるわけではありません。